

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和2年 3月 30日

事業所名：すこやかキッズランド垂水北

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	全体を職員が見渡せるよう、安全に工夫をしたスペースの確保をおこなっている。	はい、という意見を多くいただいている。どちらともいえないという意見も少数ありました。	活動スペースを確保できるよう、毎日の整理整頓をおこない、快適、安心できる空間を目指していく。
	2 職員の適切な配置	子どもの人数や状態、状況に応じた適切な配置をおこなっている。	はい、という意見を多くいただいている。どちらともいえないという意見も少数ありました。	現在の配置数を維持していくと共に、職員個々のスキルアップも図っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内はワンフロアで、職員が全体が見渡せるような安全に留意した室内環境を整えている。トイレはバリアフリーに対応していません。	・はい、という意見を多くいただいている。わからないという意見も少数ありました。	子どもの特性や状況に合わせて、安全で過ごしやすい環境作りを進めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は毎日しっかりおこない、食事や行事後の清掃もおこなうことにより清潔を保っている、温度調節もこまめにしている。また、活動に合わせて、安全で快適に過ごせる環境作りに務めている。	・ほとんどの方にははい、という回答をいただいています。	引き続き日々の清掃と消毒を実施していき、清潔感と安心感を感じる空間を維持していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的な職員への聞き取りをおこなったり、職員からの問題の定期等があれば都度話し合っている。		職員が高い意識を持って業務に取り組める環境を作っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は、実施していない。		第三者による外部評価の実施は無いが、子どもや保護者に信頼してご利用していただけるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	全体で集まり、研修等(虐待防止など)をおこなう機会を設けている。		今後も定期的な研修を実施していく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画の作成前に保護者からの施設に対する希望や普段の様子などを伺い、課題やニーズを適切に反映させる計画の作成に努めている。		普段の活動や保護者の方からの相談、定期的なアセスメントに基づいて、ニーズに沿った計画書の作成をおこなっていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	計画の作成前に保護者からの要望や様子などを伺い、個々に応じた活動計画、また課題やニーズを適切に反映させるよう努めている。	・多くの方にははい、という回答をいただいています。わからない、どちらともいえない、という回答もありました。	子どもの状況に応じた個別、集団活動を組み込んだ計画を立案、作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの状況に合わせた目標設定をおこなっている。保護者からのニーズも取り入れ、わかりやすく具体的な支援内容の記載に努めている。		子どもの特性や、取り組んでいる課題を客観的に捉え、それぞれに合った支援内容を記載していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が子どもの課題に対しての共通意識を持ち、計画に沿って、個々に応じた適切な支援を実施するよう努めている。	・はい、という回答を多くいただいています が、わからない、という意見もありました。	定期的に計画書を確認し、目標や課題を把握、適切な支援を継続しておこなう。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体でアイデアを出し合い、安全に配慮した様々な形で活動プログラムの計画をおこなっている。		目的や意図を明確にしたプログラムの作成に職員全体で取り組んでいく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご家庭の事情も考慮し、利用されるご家族と子どもに対して、できる限りの対応をさせていただいている。	・はい、という意見を多く回答いただきました。わからない、という意見も少数ありました。 ・個々に応じて様々な課題に取り組んでいた だいて感謝しているという意見もありました。	できる限り保護者の意向に沿った支援を、柔軟におこなう体制を作る。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	制作や、体を動かす活動、イベントなど、季節を感じさせるものを中心に工夫を凝らし、子どもの様子や状況に合わせた活動をおこない、プログラムが単一化しないようにしている。		多様なプログラムが提供できるように職員全体で相談し、工夫、改善をおこないながら実施していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	送迎前に朝礼をおこない、利用者の数、一日の流れや注意点、役割分担等の確認をおこなっている。		引き続き送迎前のミーティングで送迎者、支援内容や留意点等の情報の連絡をおこなっていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員からの報告や気付いた点など話し合いをおこない、振り返りをおこなっている。特記事項については、口頭での伝達、またはノートに記載して全職員に周知をしている。		今後も支援終了時の報告の徹底を図り、全職員が情報共有できる書類等を充実させていく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人ごとの記録簿に各内容についての記録をしている。また、支援内容についての変更や改善点についても話し合い、都度改善をおこなっている。		各記録に不備や漏れが無いよう日々の確認をおこなう

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にご家族にモニタリングを実施し、支援計画の作成、見直しをおこなっている。	引き続きモニタリングの見直しをおこなっていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子どもの状況を把握している責任ある職員がサービス担当者会議に参画をしている。	引き続き管理責任者が会議に参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	幼稚園、保育所等からの連絡や、保護者からの依頼があれば、その都度、意見交換、情報の共有をおこなうように努めている。	今後も必要に応じて情報提供の協力を行っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当なし	該当なし
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施するよう努めている。	今後多くの職員が研修に参加できるよう調整していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童館などの他施設との交流の機会は持っていない。	・いいえ、わからない、という回答を多くいただいております。 現在交流は無いが、機会があれば交流を検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の方々との行事などは実施していない。	・いいえ、わからない、という回答を多くいただきました。	機会があれば検討していく。	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学、面談時に説明をおこなっている。また契約時には口頭、書面にて説明している。支援内容、負担額に変更があった場合も、説明をおこなっている。	・はい、という回答が多数、わからない、という回答が一件でした。	引き続き保護者にご理解いただけるよう丁寧に説明していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を保護者に提示し、支援内容やニーズについて、口頭で丁寧にわかりやすく説明をおこなっている。	・はい、という回答を多数いただきましたが、わからない、という意見も少数みられました。	引き続き保護者にご理解いただけるよう丁寧に説明していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングのプログラムの実施はないが、相談依頼があれば、個別に対応できる環境を整えている。	・わからない、いいえという意見が半々でした。 ・困っていることを相談すると一緒に考えてくれたという意見もありました。	ご希望や必要に応じてその都度対応していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時に子どもの課題や現状報告をおこなっている。また電話対応でも状況を伺い、共通理解を深めている。	・はいという回答が多数、どちらともいえないという回答は1件ありました。	今後も保護者との情報交換・共有がおこなえるよう連絡を密にしていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話で保護者から話を伺い、対応、助言をおこなっている。また、保護者からの依頼があれば、相談ができる環境を整えている。	・はい、いいえ、という回答が半々、どちらともいえない、という回答もありました。 ・定期的な面談はないが、希望すると面談してくれるという意見もありました。	引き続き相談しやすい状況作り、声掛けをおこなっていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会などは、実施していない。	・いいえ、どちらとも言えない、わからない、という回答がありました。 ・今はあまり保護者会を必要としていないという意見もありました。	現在父母会等の実施予定はありません。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制は、契約時の書類に記載して説明しており、対応する体制は整えている。	・はい、という回答が多数、わからない、という回答もありました。 ・苦情を言ったことがないのでわからないという意見もありました。	引き続き、苦情があった際には迅速かつ丁寧に対応するように取り組んでいきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードの使用やジェスチャー、声掛け等で意思疎通に努めている。保護者には送迎時の報告や、連絡帳にて日々のご様子をお伝えしている。	・はいという回答が多数、いいえ、わからない、どちらともいえない、という回答も少数ありました。	引き続きわかりやすい説明、情報の伝達を実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報は発行していない。イベント行事などについては、送迎時に前もってお伝えをしている。また、連絡帳などを活用し、活動について記載をしている。	・わからない、という回答が多くみられた。はい、いいえ、という回答もありました。 ・連絡ノートで伝わってくるという意見もありました。	今後もできる限りの情報発信に努めると共に、改善できる点は検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約書に記載しており、説明をしている。書類等は厳重に保管しており、個人情報の保護に努めている。	・多数の回答がはい、でした。わからないという回答が1件でした。	契約時に十分な説明をおこない、個人情報の管理については、細心の注意を払い取り扱います。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定しているが、保護者に対しての周知徹底には至っていない。	・はい、わからない、という回答が多くみられた。いいえ、どちらともいえないという回答もありました。	マニュアルの定期的な見直し、更新をおこなうと共に、保護者への発信も随時おこなっていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	マニュアルに基づき、訓練を実施している。	・わからない、という回答が半数以上ありました。その他、はい、いいえ、という回答もありました。	今後も計画に沿った訓練を実施すると共に、保護者への発信も随時おこなっていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止の研修を必ずおこなっている。また、毎月チェックリストでの自己確認をおこない、管理者がチェックリストを確認、注意喚起をおこない虐待防止に対する意識向上に努めている。		今後も定期的な研修と毎月の自己チェックを実施していき、職員全員の虐待防止意識を高めていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	会社全体での会議で決めているが、身体拘束の事例はない。保護者にも説明をおこない、理解をいただいている。		引き続き全体での会議にて慎重に決定し、全職員が周知して同じ対応が図れる体制を維持すると共に、保護者の方への説明と計画書への記載を徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書の提出はおこなっていないが、保護者からの申告により、全職員が情報を共有している。アレルギーのある子供に対して十分な安全を確保し、対応する体制を整えている。		保護者及び関係医療機関等からの情報収集や連携を強化し、安全の徹底管理をおこなう。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例については口頭、またはノートに記載し、職員が情報共有をおこなっている。また、他の事業所での事例についても口頭、ノート等で周知をおこない、再発の防止について意識の徹底を図っている。		引き続き書面により全職員への周知を図ると共に、再発防止に向けた対応をその都度話し合い、改善していく。